

I 自己評価

1 学校教育目標	1 一人一人の個性を伸ばすとともに豊かな人間性を培う。 2 学力の向上とともに幅広い教養を身に付ける。 3 社会に貢献できる心身ともに健やかな生徒の育成を図る。		
2 評価する領域・分野	◇特別活動部		
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・部活動の面では、生徒の意識も向上しており、活発に活動が行われている。 ・生徒会活動においては、活発だと答えている生徒が多く、生徒会役員の日頃の活動が全校生徒に響くようになってきている。 ・ロングホームルームに関しては昨年度に引き続き充実し、今後の自分にとって意義のある内容だと感じている割合が増えている。担任の日頃の働きかけの成果が表れてきている。		
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇自主的な行動習慣を養い、自己を生かす能力の育成に努める。 ◇ホームルーム活動や部活動に積極的に参加させ、健全な心と、最後までやり抜く強い気持ちの育成を図る。 ◇生徒と教師が信頼と愛情に基づいて協力し、活動を活性化させ、充実感や達成感を味わえるように導く。		
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・生徒会を中心に「あいさつ運動」の更なる推進。 ・紫翠祭の活動を活用し、教員への働きかけを行い、ホームルーム経営力の向上を図る。 ・部活動の活性化と向上。		
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標		
(1) 部活動への参加意欲を喚起し、学校全体に活気を生む。 (2) 学校行事等で、クラスの協調性を養う。 (3) 学校行事を通じて、生徒が充実感・達成感を得られる機会をつくる。	(1) 部活動の充実 (2) クラスごとの具体的取り組みの明確化 (3) 学校行事の充実		
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価	
・部活動の活性化 部活動デーの確保・大会結果の広報活動 ・ホームルーム活動の活性化 各種行事への積極的参加・クラスでの協力 ・学校行事の活性化 行事への積極的参加・新規行事の企画	①参加状況・大会結果 ②クラスでの目標達成 ③参加状況	A B C D A B C D A B C D	
11 成果・課題	○部活動において、陸上部・バレー部・簿記部が東海大会出場を果たし、その他の部活動も運動系・文化系問わず積極的な活動を展開し、県大会上位に進出している。 ○生徒会が主体的に行う「あいさつ運動」が定着し、「あいさつ」のできる生徒が増えた。 ▲学校行事をはじめとし各種活動を積極的に行ってきたが、主になる部署が何処か等、全体への伝達不足によりスムーズな運営ができない面もあった。		総合評価 A B C D
12 来年度に向けての改善方策案（学校評価アンケートを踏まえて） ◇紫翠祭・球技大会など、各行事ともに全校生徒が積極的に活動し、充実感・達成感を得られる機会となった。しかし、反省アンケートにも取り上げられていたが、運営がスムーズにできない場面もあった。各部署との連携を図り、改善していきたい。 ◇部活動の積極的推進を図っていきたい。部活動デーの積極的実施・大会結果の広報活動など、校内および保護者に積極的に発信し、学校活性化につなげていきたい。			

II 学校関係者評価

実施年月日：平成30年2月8日

【意見・要望・評価等】 ・部活動特に運動系の部活動の時間が長いので、時間短縮という改善が必要になってくる。部活動の指導後、授業準備などもあり、睡眠や休みなどが無いのではないかと。 ・各部活動で、休養日が設定されているので、今後も継続するとよい。
--